

諮問第2号

人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて
人権擁護委員の候補者として推薦しようとする者

住所 [REDACTED]

氏名 福島敬子

生年月日 [REDACTED]

学歴 [REDACTED]

職歴 昭和47年 4月 鹿児島県曾於郡輝北町立市成中学校教諭
昭和51年 4月 鹿児島県大口市立大口中学校教諭
平成 3年 1月 宝塚市立宝梅中学校臨時講師
平成 4年 4月 宝塚市立南ひばりガ丘中学校臨時講師
平成 4年 9月 宝塚市立宝梅中学校臨時講師
平成 5年10月 宝塚市立南ひばりガ丘中学校臨時講師
平成 7年 8月 宝塚市立養護学校臨時講師
平成10年10月 宝塚市立宝塚中学校臨時講師
平成11年 6月 宝塚市立養護学校臨時講師
平成11年10月 宝塚市立高司中学校臨時講師
平成12年 4月 履正社学園豊中中学校講師
平成14年 4月 履正社学園豊中中学校教諭（コース主任）
平成17年 4月 履正社高等学校教諭（コース主任）
平成20年 4月 履正社学園豊中中学校教諭（コース主任）
平成23年 4月 履正社高等学校非常勤講師
平成27年 1月 人権擁護委員
現在に至る。

人権擁護委員法(抜粋)

(委員の推薦及び委嘱)

第6条 人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する。

2 前項の法務大臣の委嘱は、市町村長(特別区の区長を含む。以下同じ。)が推薦した者の中から、当該市町村を包括する都道府県の区域(北海道にあつては、第16条第2項ただし書の規定により法務大臣が定める区域とする。以下第5項において同じ。)内の弁護士会及び都道府県人権擁護委員連合会の意見を聴いて、行わなければならない。

3 市町村長は、法務大臣に対し、当該市町村の議会の議員の選挙権を有する住民で、人格識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある社会事業家、教育者、報道新聞の業務に携わる者等及び弁護士会その他婦人、労働者、青年等の団体であつて直接間接に人権の擁護を目的とし、又はこれを支持する団体の構成員の中から、その市町村の議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦しなければならない。

4～8 (略)

※個人情報保護のため、一部マスキングをしています。